

事業名：ふれあいワークセンター管理運営事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実							
施策	04 障がい者福祉の充実							
基本事業	99 施策の総合推進							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
ふれあいワークセンター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
施設の管理運営を指定管理者に委託する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
施設の維持管理・運営を適切に行い、利用者サービスを向上する。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	8,646	8,646	8,646	11,397
活動指標2						
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	8,646	8,735	9,562	11,487
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	9,449	9,537	10,343	12,269

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	障がい者や高齢者の活動・交流促進のための施設利用に関する管理業務	委託料 8,646千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
ここ数年、配管設備の不具合が続いていたことから、平成21年度に経済交付金を使って配管設備等の修繕を行った。(1,166千円)	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 障がい者が利用し、障がい者の生活訓練・福祉的就労などを目的とした施設であり、その管理運営経費である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 障がい者が利用し、障がい者の生活訓練・福祉的就労などを目的とした施設であり、その管理運営経費である。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 18年4月から指定管理施設となり、施設運営の効率化が図られた。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 指定管理制度により、施設の活用やサービス面の向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 指定管理者制度によるふれあいワークセンターの運営効率化により、運営費等の削減が期待できる。